

旅客と発着数、最多更新

成田空港、4～9月 LCC増便で

成田国際空港会社（NAA）がまとめた2015年4～9月期の成田空港の運用状況（8、9月は速報値）は、航空機の発着回数、旅客数ともにLCC専用ターミナルの開港以来過去最高を更新した。格安航空会社（LCC）が増便したことが要因で、国内線は1102回、国際線は中国や北米路線が好調で、2%増の9万1102回。国内線はLCC中心に増便が相次ぎ、2%増の2万6703回だった。

開業や訪日外国人客の増加を受け、国際線、国内線ともに新規路線の就航や増便が相次いだ。

発着回数は前年同期比2%増の11万7805回で、上期として4期連続で過去最高を更新した。

国際線は中国や北米路線が好調で、2%増の9万1102回。国内線はLCC中心に増便が相次ぎ、2%増の2万6703回だった。

旅客数は8%増の1931万1172人だった。東南アジア各国に対して、NAAは10月25日から9月として過去最多を更新した。

9月単月も8月に続いて発着回数、旅客数ともに過去最多を更新した。

訪日ビザの発行条件を緩和したことや、円安基調が続いたことなどが寄与し、国際線の外国人旅客数は27%増の654万8221人と2期連続で最高値を更新した。

国内線旅客数も16%増の355万164人で引き続き好調だった。4月に専用ターミナルが開業し国内旅行でLCCを利用する個人客が増えた。

9月単月も8月に続いて発着回数、旅客数ともに過去最多を更新した。

発着回数、旅客数ともに増加傾向にある



5年冬ダイヤについて、1週間あたりの総発着回数を前年同期比122回多い4366回に増やす計画を発表した。